

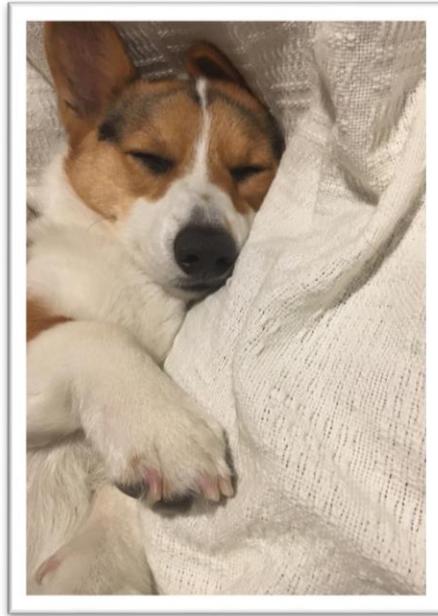
工房だより

～ ペットののための自然食キッチンから ～

暑～い夏！一緒に
乗り越えようね。



甘えん坊で暴れん坊・・・笑
ママ曰く、何事にも全力で完全燃焼型とのこと。
電池が切れたようにバタッと寝息を立てて寝てしま
うそうです。かわいい寝顔に癒されますね。



今月の一枚
ハルくん 2才
(ウエルシュ・コーギー)



ワンちゃんのお写真募集中！
メールにて、どんなワンちゃんか一言添えてお送りください。採用された場合には心ばかりのお礼をお送りします。
info@petfood-kitchen.co.jp

大反響 鹿肉フードを 食べたワンちゃんの声

発売から1ヶ月経ち、鹿肉お試し
20%off 40g を食べたワンちゃんか
らたくさんさんの声をいただきました。

その一部をご紹介します。

「鶏肉にアレルギーがあり、ドッグ
フード工房をあきらめておりました
が、待っていた甲斐がありました。食
いつき抜群です。」(神奈川県 K様)

「フード目指して一直線：袋に手を掛
けた瞬間ダッシュで飛んできます。お
値段が良いので他のフードにトッピング
してあげています。食べっぷりが更
にアップしました。」(東京都 Y様)
そのほか、できたて定期便のライン
ナップに加えてほしいとたくさんのお
声も頂きましたので、現在 準備を進
めております。あらためてご案内させ
て頂きますので、今しばらくお待ち下
さい。



こだわりの原材料シリーズ ドッグフード工房のビール酵母

ドッグフード工房には、アミノ酸(必
須アミノ酸を含む)・ミネラル・ビタミ
ン・食物繊維などが豊富に含まれてい
る、ビール酵母を使用しております。

ビール酵母の特徴として「体内に存在
する善玉菌をサポートする」という働き
があります。また、ビタミンB1・B6・
B2・ニコチン酸・パントテン酸・B12・
葉酸をはじめとする10種類のビタミン
B群が、体内に取り入れた栄養素のエネ
ルギー変換を助けています。

余談ですが、ビールを飲んでもビール
酵母は摂取できません。日本で一般的に
流通しているビールのほとんどは、熱処
理をしない代わりにとても細かいフィル
ターで酵母などの不純物を除去している
ためです。

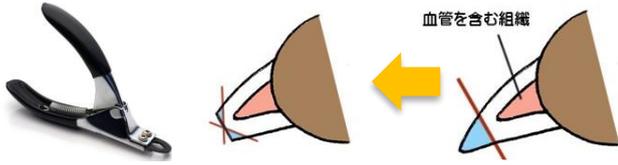


必須アミノ酸たっぷり、ビタミン・
ミネラル・食物繊維なども豊富。

爪のお手入れについて

犬の爪は、人間の爪のようにどんどん伸びていくので、定期的に爪を切る必要があります。

散歩の際に爪が削れるため、よく歩く犬とそうでない犬では、爪を切る頻度が変わってくることもあります。が、全ての爪が均等に削れるわけではないので、「うちの犬はよく散歩に行っているから大丈夫」と思わずに、月に1回ぐらい定期的に爪のチェックをしてあげてください。



組織まで切らないよう注意

犬の爪は根元から先まで同じ太さの円柱状なので、1回でパチンと切るよりも、角を取るように角度を変えながら切りすぎに注意して少しずつ切るほうがおすすめです。野菜の「面取り」をするイメージでおこなってもらうと、爪先が丸く仕上がりに、爪があたった時にも痛くありません。爪切りは、ギロチンタイプがおすすめです。



適切な爪の長さの目安は、四肢で立った際に、爪の先が床に付かない程度が理想的です。フローリングを歩く時に、「カシヤカシヤ」鳴るようであれば、伸びすぎかもしれません。

また、地面に接していない5本目の爪「狼爪(ろうそう)」は普段の生活で削れることがないので、切つてあげる必要がありますのでお忘れなく。

お知らせ

次月号から新コーナー

【愛犬と心を通わせていますか?】がスタート致します。日々ともに暮らす愛犬との関係性をよりよくするための考え方や接し方をお届けできればと考えています。

家庭犬ドッグトレーナーの廣瀬佐知子先生 監修のもとお届けしてまいりますので、お楽しみに。

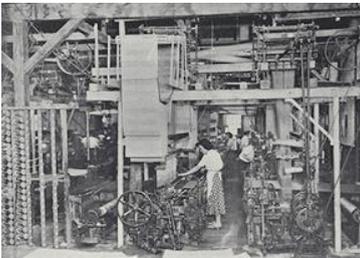
また、感想や質問などございましたら、同封しているお八ガキでお寄せいただけましたら幸いです。



桑の都 八王子

織物の歴史(下)

大正時代になると、男性の服装は着物から洋服となり、女性の着物は縮物(しまもの)から模様物へと変わっていきました。八王子は大衆向けの着尺(きじやく) (着物用の織物)の、特に男物中心の産地でしたので、このことは大きな問題でした。八王子の機業家たちは新分野開拓の必要に迫られて、まず婦人物着尺に活路を見出します。大正十三年(1924年)には八王子織物柄の会が設立されるなど、新製品の開発や販売圏拡張に努めました。また大正末には初めてネクタイが作られました。現在も八王子は国内有数のネクタイ産地です。また、流行などの影響を受けやすかった八王子において、もともと長く織り続けられたのが多摩結城です。八王子の技術の集大成と評価も高く、現在も伝統工芸品として織られています。



太平洋戦争勃発により多くの工場は軍需工場などに転換するか、廃棄せざるをえませんでした。

さらに市街地の九パーセントが焦土と化した昭和二十年八月二日の八王子空襲によって最後に残った工場も壊滅的打撃を受けてしまいました。

しかし、戦後の衣料不足から織物の需要が高まり、昭和二十年代半ばには、ガチャンと機(はた)を織れば万という金がかかるといいう意味で「ガチャ万」と評され、好況期を迎えたのです。多くの新商品も生まれ、紋ウールは、素材にウールを用い先染の伝統を生かした紋織りで、四十年代にかけて売れ続け、戦後八王子織物の最大のヒットとなりました。昭和五十五年「多摩織」が通産省から伝統工芸品として指定を受けます。多摩織とは、多摩結城(ゆうぎ)・紬織(つむぎおり)・風通織(ふうつうおり)・変わり綴(つづれ)・振(もじ)り織の5種類の織物の総称で、八王子織物の歴史と技術の結晶と言われています。

